

令和2年度専攻医募集の結果等について

新専門医制度の採用数上限設定(シーリング)

(2018年度専攻医(1年目))

- 2018年度専攻医においては、日本専門医機構により、五大都市(東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県)について、各診療科(外科、産婦人科、病理、臨床検査および総合診療科以外)のシーリング数として過去5年間の採用数の平均が設定された。

(2019年度専攻医(2年目))

- 2019年度専攻医は、引き続き五都府県に2018年度と同様のシーリングを実施。ただし、2018年度専攻医が東京都に集中したことを受け、東京都のシーリング数を5%削減した。

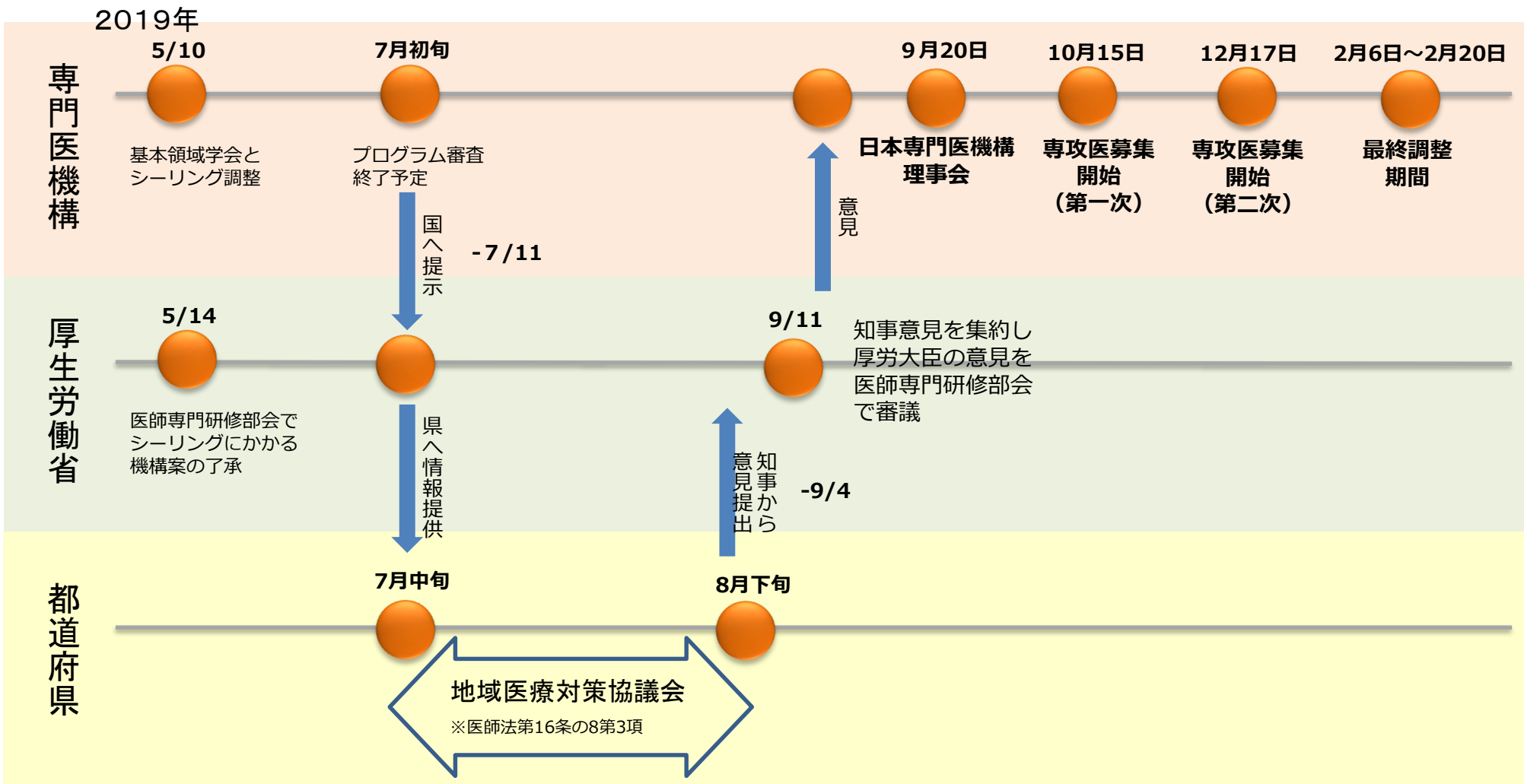
(2020年度専攻医(3年目))

- 2020年度専攻医募集に向けては、厚生労働省が2018年度に発表した都道府県別診療科必要医師数および養成数を基に、各都道府県別診療科の必要医師数に達している診療科に対して、一定のシーリングをかけることを厚労省が日本専門医機構に提案し、日本専門医機構が作成したシーリング案が5月14日医道審議会医師専門研修部会にて承認された。
- 上記のシーリング案について、都道府県の地域医療対策協議会において検討を行い、厚生労働大臣に意見を提出し、9月13日に厚生労働大臣から日本専門医機構に、必要な措置の実施を意見・要請した。
- それを踏まえ、日本専門医機構はシーリングの最終決定を行い、10月15日より専攻医の募集を開始した。

(2021年度専攻医(4年目))

- 日本専門医機構がシーリングを検討するための協議体を設置しており、各学会や都道府県からのヒヤリング等を踏まえ検討がなされる予定。

2020年度専攻医募集のスケジュール(シーリング)



2020年専攻医募集 都道府県別一覧表

		2019年 採用実績	2020年 応募者	2020年 採用者	増減率
1	北海道	317	316	304	-4.1%
2	青森県	72	68	68	-5.6%
3	岩手県	65	76	71	9.2%
4	宮城県	142	174	172	21.1%
5	秋田県	49	56	55	12.2%
6	山形県	66	60	57	-13.6%
7	福島県	76	90	87	14.5%
8	茨城県	142	136	134	-5.6%
9	栃木県	121	123	122	0.8%
10	群馬県	78	85	84	7.7%
11	埼玉県	256	352	337	31.6%
12	千葉県	332	387	381	14.8%
13	東京都	1770	1902	1783	0.7%
14	神奈川県	516	567	546	5.8%
15	新潟県	95	124	123	29.5%
16	富山県	53	52	52	-1.9%
17	石川県	122	117	113	-7.4%
18	福井県	50	58	57	14.0%
19	山梨県	57	53	53	-7.0%
20	長野県	109	125	124	13.8%
21	岐阜県	85	111	111	30.6%
22	静岡県	150	176	173	15.3%
23	愛知県	476	533	519	9.0%
24	三重県	94	106	102	8.5%

		2019年 採用実績	2020年 応募者	2020年 採用者	増減率
25	滋賀県	89	88	87	-2.2%
26	京都府	269	266	259	-3.7%
27	大阪府	652	769	683	4.8%
28	兵庫県	381	469	454	19.2%
29	奈良県	97	117	115	18.6%
30	和歌山県	67	90	90	34.3%
31	鳥取県	55	54	53	-3.6%
32	島根県	44	47	45	2.3%
33	岡山県	221	244	243	10.0%
34	広島県	141	156	145	2.8%
35	山口県	46	60	59	28.3%
36	徳島県	65	51	48	-26.2%
37	香川県	59	37	37	-37.3%
38	愛媛県	65	85	85	30.8%
39	高知県	36	45	44	22.2%
40	福岡県	444	457	424	-4.5%
41	佐賀県	53	54	53	0.0%
42	長崎県	111	87	87	-21.6%
43	熊本県	122	117	113	-7.4%
44	大分県	61	58	58	-4.9%
45	宮崎県	52	45	45	-13.5%
46	鹿児島県	107	107	105	-1.9%
47	沖縄県	85	115	112	31.8%
	計	8615	9465	9072	5.3%

※赤字は2020年の採用数の伸びが全国平均(5.3%)以上の増加率の都道府県

2020年専攻医募集 診療科別一覽表

	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
2018採用数	2670	573	271	441	805	552	441	328	267	274
2019採用数	2794	548	321	465	826	514	436	334	282	255
2020採用数	2922	565	304	517	828	665	476	344	266	323

	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ科	総合診療
2018採用数	224	260	495	114	6	267	163	75	184
2019採用数	252	234	489	118	19	286	193	69	180
2020採用数	247	247	455	101	14	278	215	83	222

※赤字は2020年の採用数が2019年から増加した診療科

2020年専攻医募集 都道府県診療科別一覧表 ①

	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12							
	北海道			青森県			岩手県			宮城県			秋田県			山形県			福島県			茨城県			栃木県			群馬県			埼玉県			千葉県							
	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数					
内科	101		79	17		20	27		32	53		67	16		12	25		17	28		29	46		39	40		45	24		24	85		113	104		150					
小児科	17		21	7		4	4		6	11		11	4		1	4		3	5		5	12		9	10		6	6		4	21		30	31		18					
皮膚科	11		6	3		2	2		2	1		6	0		2	1		2	3		2	5		8	5		2	2		1	12		11	10		10					
精神科	13		14	4		4	2		3	1		11	2		7	4		5	6		11	9		6	4		6	3		8	17		27	18		28					
外科	25		31	13		8	8		7	22		21	8		5	8		2	8		10	13		9	8		17	7		9	14		21	28		27					
整形外科	21		22	5		3	5		5	5		10	4		4	6		7	3		1	10		8	5		5	9		7	10		13	22		32					
産婦人科	8		16	5		3	5		4	11		10	1		3	5		4	2		9	8		14	10		8	1		1	12		12	6		13					
眼科	11		13	0		1	1		0	6		6	2		2	1		1	4		0	4		4	6		4	1		1	13		13	14		19					
耳鼻咽喉科	10		11	3		4	1		1	6		5	0		4	2		3	2		0	3		4	3		1	2		2	6		13	10		5					
泌尿器科	10		14	1		2	3		4	5		3	1		4	1		4	4		5	2		7	5		8	4		3	7		7	13		10					
脳神経外科	11		8	3		2	1		0	4		5	2		1	2		3	2		3	4		2	2		1	1		2	8		13	5		3					
放射線科	9		10	2		2	1		0	1		3	0		2	1		2	2		3	6		5	5		2	6		4	8		8	7		5					
麻酔科	29	23(2)	24[1]			2	4	0		1	6		4	3		3	3		0	3		3	8		7	3		7	5		9	16		21	14		21				
病理	5		4	0		2	1		0	0		1	4		2	1		1	1		1	1		0	2		0	2		0	2		4	3		4					
臨床検査	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	1		1	1		1	2		0					
救急科	10		11	3		3	2		0	4		4	0		1	0		2	2		1	2		4	6		3	3		3	7		6	17		17					
形成外科	4		1	3		0	2		3	2		2	0		0	0		0	0		1	3		3	4		6	0		0	10		10	15		12					
リハビリ科	9		3	0		2	0		0	1		0	0		0	1		0	0		0	2		2	0		0	0		1	3		4	3		1					
総合診療科	13		16	1		2	0		3	3		3	2		1	1		1	1		3	4		3	3		1	1		4	4		10	10		6					
計	317		304[1]			72			68	65		71	142			172		49		55	66		57	76		87	142		134	121		122	78		84	256		337	332		381

	13			14			15			16			17			18			19			20			21			22			23						
	東京都			神奈川県			新潟県			富山県			石川県			福井県			山梨県			長野県			岐阜県			静岡県			愛知県						
	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数	2019年採用数	2020年シーリング数	2020年採用数				
内科	515	515(77)	515[2]	186		178	36		55	17		15	40	40(4)	40[4]	9		11	9		20	37		47	21		47	45		51	162		156				
小児科	123	123(17)	132[9]	26		36	6		5	5		3	3		2	3		2	3		2	9		8	6		4	14		16	23		29				
皮膚科	86	76(11)	63	15		17	6		5	1		2	2		5	3		4	5		2	3		2	5		2	6		5	22		27				
精神科	95	91(11)	91	27		33	4		8	3		2	9	9(0)	9	4		5	5		8	7		4	4		8	8		7	28		21				
外科	148		185	53		42	9		7	7		8	18		4	4		4	3		6	12		9	7		14	10		16	55		48				
整形外科	110		124	25		38	5		7	1		0	10		10	2		2	5		4	4		8	6		7	7		16	25		48				
産婦人科	126		119	19		25	3		8	4		7	3		5	5		3	3		0	3		3	6		4	11		6	28		25				
眼科	75	72(13)	67	20		15	3		3	4		1	5		5	2		3	5		2	2		4	5		2	4		6	18		17				
耳鼻咽喉科	57	57(10)	54	19		11	5		3	2		1	6	6(0)	6	0		4	4		0	2		4	5		1	7		6	14		22				
泌尿器科	50		65	15		23	0		1	3		1	5		6	3		2	3		0	5		4	4		1	8		8	11		16				
脳神経外科	55	49(6)	46	11		11	4		5	0		1	4		3	2		2	2		4	3		1	4		3	3		4	18		16				
放射線科	46	45(7)	44	10		13	1		2	0		0	3	6(0)	0	0		4	4		2	4		3	2		3	3		1	5		19				
麻酔科	103	95(10)	80[1]	29		40	4		7	3	7(0)	6[1]	7		8	3		2	2		1	1		3	6		7	6		12	26		29				
病理	25		27	5		2	2		2	1		0	0		0	2		3	0		0	2		2	2		4	1		3	5		5				
臨床検査	5		6	1		1	0		0	0		0	0		0	0		2	1		0	1		0	0		0	2		0	0		0		0		
救急科	59		63	26		20	2		1	1		1	0		1	0		2	6		1	3		0	5		1	4		5	9		10				
形成外科	48	42(6)	42	17		23	2		4	0		0	5		6	0		2	0		2	0		5	0		0	5		5	6		12				
リハビリ科	21	20(3)	20	4		6	1		0	0		0	2		0	0		0	0		0	1		2	0		1	1		2	7		4				
総合診療科	23		40	8		12	2		0	1		4	0		2	2		1	0		0	8		10	1		2	5		4	14		15				
計	1770		1783[12]			516			546	95		123	53		52[1]	122		113[4]		50		57	57		53	109		124	85		111	150		173	476		519

※ 2020シーリング数の()内はシーリング数のうち連携プログラムの数、2020採用数の[]内は採用数のうちシーリング対象外で採用となった地域枠医師等の数

2020年専攻医募集 都道府県診療科別一覧表 ②

	24			25			26			27			28			29			30			31			32			33			34			35		
	三重県			滋賀県			京都府			大阪府			兵庫県			奈良県			和歌山県			鳥取県			島根県			岡山県			広島県			山口県		
	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数			
内科	30		31	33	32	80	80 (12)	79[4]	211	211 (9)	203 [1]	137		185	25	43	24	23(2)	26[5]	19	17(1)	18[3]	19		9	61	61(5)	64[5]	59		54	21	19			
小児科	5		9	7	7(0)	6	9	9(0)	12[3]	42		56	20	35	5	9	5		1	2	7(0)	3	3	2	14	14(0)	5	6		5	2	3				
皮膚科	6	1	4	4	3	10	10(1)	10	20		25	13	6	3	3	5		1	1		2	2		1	12	12	1		6	1	5					
精神科	4	1	4	4	6	12	12(1)	8	38	45	19	24	10	7	5	3	3		3	2		6	13	11(1)	11	5		6	2	4						
外科	14	13	6	3	19	18	17	72	41		79	42	28	9	5	2		7	5		5	4	3	32		37	14		13	4	8					
整形外科	4	7	5	9	17	17	21	71	52	17	42	38	6	17	9	3	9(0)	9[1]	5		3	1	1	10		21	7		13	3	3					
産婦人科	2	11	2	5	14	17	31		39	9	10	9	1	1	1			3	4		2	2	2	11		13	5		6	4	2					
眼科	6	7	3	4	17	17(2)	17	28	27(3)	26	18	14(1)	14	1	5	1		4	1		1	0	4	8		12	4		7	1	2					
耳鼻咽喉科	0	2	3	3	12	10(2)	11[1]	20	20(2)	20	14	13	5	7(0)	0	3		8	3		1	0	0	7	7(0)	4	6	6(0)	3	0	0					
泌尿器科	3	6	3	5	5	19(0)	13	19	20(2)	18	10			12	3		4	3		5	4		4	0		10	0		4	1	2					
脳神経外科	2	1	2	1	13		9	19		20	8		15	1	3	2		5	1		2	1	1	4	14(0)	14	3		3	0	1					
放射線科	5	3	3	1	14	14(0)	10	16	18(2)	16	9		11	3	6	3		3	2		2	1	3	6	9(0)	4	10		5	0	3					
麻酔科	7	4	7	1	13	14(1)	12[1]	38	34(2)	32	30	20	2	5	3		1	2		2	3	2	18	18(2)	11	7		12	2	3						
病理	3	1	1	1	9		4	10		3	2		4	2		1	0		1	0		1	0		1	3		4	1	0	0					
臨床検査	0	2	0	0	1		0	0		0	1		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0	0	0					
救急科	0	1	2	1	10		8	21		22	14		12	6	3	5		5	1		1	3		3	4		8	7	2	0	2					
形成外科	0	0	0	0	7	8(0)	8	19	17(1)	17	9		13	1	1		1	1		0	0		0	5		7	1		2	0	0					
リハビリ科	2	0	0	0	0		4	1		4	6		8	0	0	1		6	0		0	0		2	0		1	4		3	0	0				
総合診療科	1	2	4	6	7		2	6	6	3		6	6		10	0		2	2		2	3		5	8		5	1		1	5	2				
計	94		102	89		87	269		259 [9]	652		683 [1]	381		454	97		115	67		90[6]	55		53[3]	44		45	221		243 [5]	141		145	46	59	

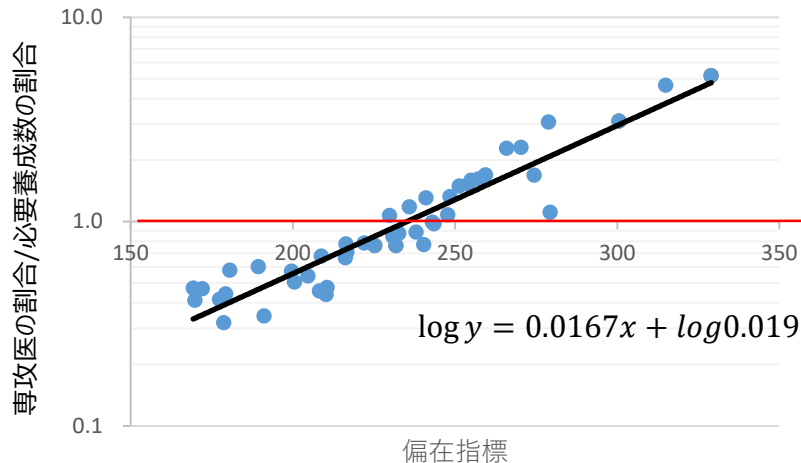
	36			37			38			39			40			41			42			43			44			45			46			47		
	徳島県			香川県			愛媛県			高知県			福岡県			佐賀県			長崎県			熊本県			大分県			宮崎県			鹿児島県			沖縄県		
	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数	2019年 採用数	2020年 シーリング 数	2020年 採用数			
内科	24	21(2)	16(4)	31		16	15		25	16	16(0)	11 [10]	143	143(1 7)	143 [2]	15	17(0)	13[1]	44	39(4)	31[3]	36	35(0)	37[3]	26		23	16		7	42		39	24	36	
小児科	2		2	7	7(0)	1	3		3	0		2	28	28(3)	25	3		4	7		3	8		7	4		2	4		7	4	1	5	16(0)	5[1]	
皮膚科	1	4	0		1	1		1	0		3	16	13(1)	13	2	3	3		2	3		4	3		4	1		2	2		2	2		2		
精神科	1	3	3		4	3		6	3	6(0)	2	28	23(3)	23	7	8(0)	8	1		4	11	11(0)	4	3		0	3		2	2		3	6	7(0)	8[1]	
外科	4	2	6		2	10		14	3		3	46	36	1	4	9			5	14		11	4		5	2		4	11		5	5		8		
整形外科	2	2	4	8(0)	2[1]	2		10	2		3	45	43(8)	42	4	1	7	7(0)	5[1]	8	8(0)	8	5		4	5		4	4		10	2	11			
産婦人科	2	5	0		0	3		2	2		1	23	20	0	1	3			5	3		4	2		3	5		2	6		11	8	9			
眼科	2	1	2		3	1		4	0		3	11	16	4	5	2			3	4		5	3		2	2		3	4		5	5	2			
耳鼻咽喉科	2	1	1		1	7	7(0)	3	0		2	11	13	3	2	3			2	4		3	2		3	3		1	2		3	2	2			
泌尿器科	1	3	1		4	6	6(0)	3	4		1	9	18	0	2	4			1	4		6	1		0	3		1	1		0	2	3			
脳神経外科	2	1	2		0	1		1	3		4	15	12	2	1	5			0	5		4	0		1	3		1	4		7	3	1			
放射線科	4	1	0		1	5		3	1		2	8	15(0)	13	1	1	5		4	3		5	1		3	0		4	6		5	2	0			
麻酔科	6	0	0		0	3		5	0		4	31	25(2)	17	6	6(0)	2[1]	6		6	6	6(0)	5	3		2	1		3	5		5	8	8(0)	2	
病理	4	1	0		0	1		0	0		1	7	3	1		0	0		4	2		2	1		0	0		1	1		0	3	1			
臨床検査	0	0	0		0	2		0	0		0	0		0	0				0	0		0	0		0	0		0	1		1	0	0			
救急科	5	4	1		0	1		0	2		2	9	11	3	1	2			2	9		5	0		2	2		3	5		4	2	12			
形成外科	1	1	1		2	1		3	0		0	7	7(0)	7	1	2	5			5	0		0	1		2	0		0	0	1	2	4			
リハビリ科	1	0	0		0	0		0	0		0	1	3	0		1	0			0	0		1	0		0	0		0	2		2	0	0		
総合診療科	1	1	0		0	0		2	0		0	6	9	0		2	5			5	2		2	2		2	2		0	5		1	4	6		
計	65		48[4]	59		37[1]	65		85	36		44 [10]	444		424 [2]	53		53[2]	111		87[4]	122		113 [3]	61		58	52		45	107		105	85	112 [2]	

※ 2020シーリング数の()内は、連携プログラムの数、2020採用数の[]内はシーリング対象外で採用となった地域枠医師等の数

都道府県別 医師偏在指標と医師数の偏在

2018・2019年

医師偏在指標と専攻医数比/必要養成数比の関係



縦軸： $\frac{\text{都道府県別2018年・2019年の専攻医数}^1)}{\text{2024年の必要医師数を達成するための年間養成数}^2)}$ の全国比割合

イメージ

		①		②	①/②
	専攻医数	割合	必要養成数	割合	
A県	100	0.1	60	0.05	2
B県	40	0.04	48	0.04	1
C県	20	0.02	36	0.03	0.666667
総計	1000		1200		

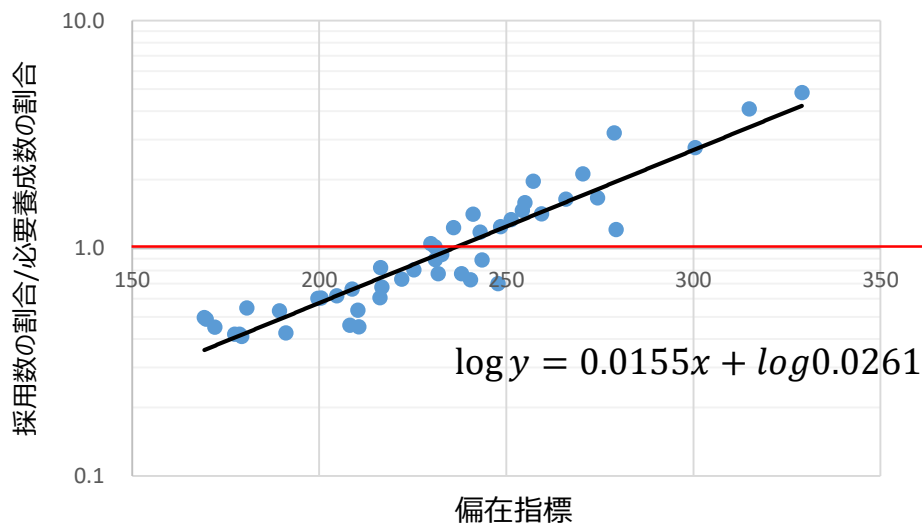
横軸：医師偏在指標

1)日本専門医機構まとめ 2)厚生労働省試算

都道府県間偏在が完全に解消された場合、全ての都道府県において縦軸の値が1となり、左図の回帰曲線の傾きが0となる

2020年

医師偏在指標と2020採用者数比/必要養成数比



縦軸：

$\frac{\text{都道府県別2020年の採用数}^1)}{\text{2024年の必要医師数を達成するための年間養成数}^2)}$ の全国比割合

1)日本専門医機構まとめ 2)厚生労働省試算

横軸：医師偏在指標

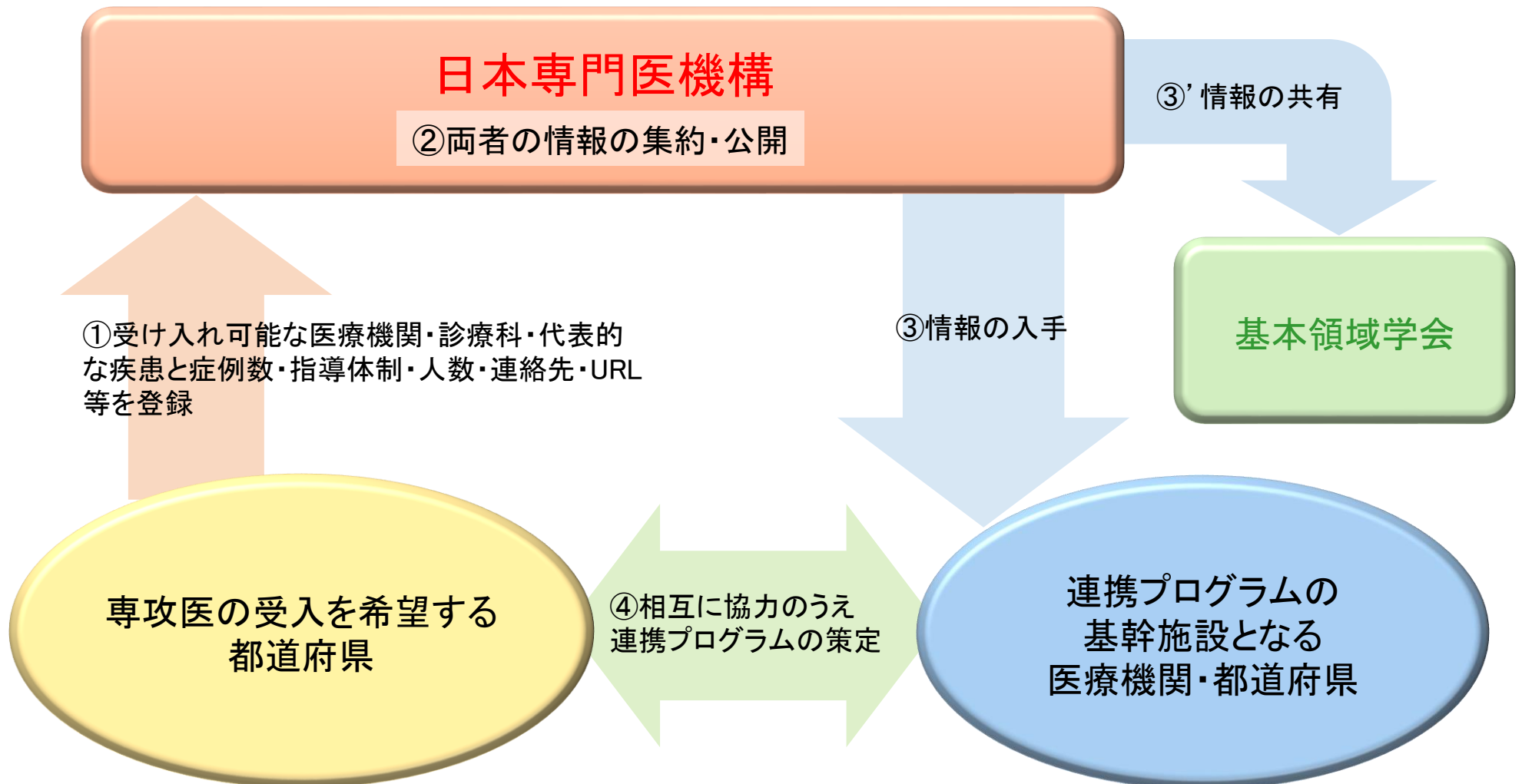


昨年度までの実績と比較し、傾きが減少しており、都道府県間偏在は改善の方向に変化

日本専門医機構による連携プログラムの仲介システム

課題と対応

都道府県のみでは専門研修における医療機関情報等の入手に限界があるため、下記のイメージで日本専門医機構が都道府県を集約・公開し、連携プログラムの策定を支援



各都道府県における専攻医シーリングの具体的な運用の提案（案）

現在は、各都道府県がそれぞれ独自の方法で、都道府県内の医療機関ごとの採用数の調整を行っている。調整に苦慮した事例等の報告もあることから、下記のような方法を厚生労働省から日本専門医機構に提案してはどうか。

提案内容

【専攻医の定数調整実施者】

シーリングが設定された場合、各医療機関のプログラム定員の上限を調整する必要があるため、都道府県の医療提供体制等を勘案して、あらかじめ地域医療対策協議会において調整機関(者)を設定。

(例：都道府県内の診療科ごとの代表者を大学あるいは医師会等から選定)

【具体的な調整方法】

1. 医療機関の診療科別プログラムの登録内容を踏まえ、シーリング対象診療科のプログラムごとの定員を調整（募集開始前）。

①調整機関(者)は、シーリング対象診療科の定員の総数を、シーリング数を勘案し決定する。

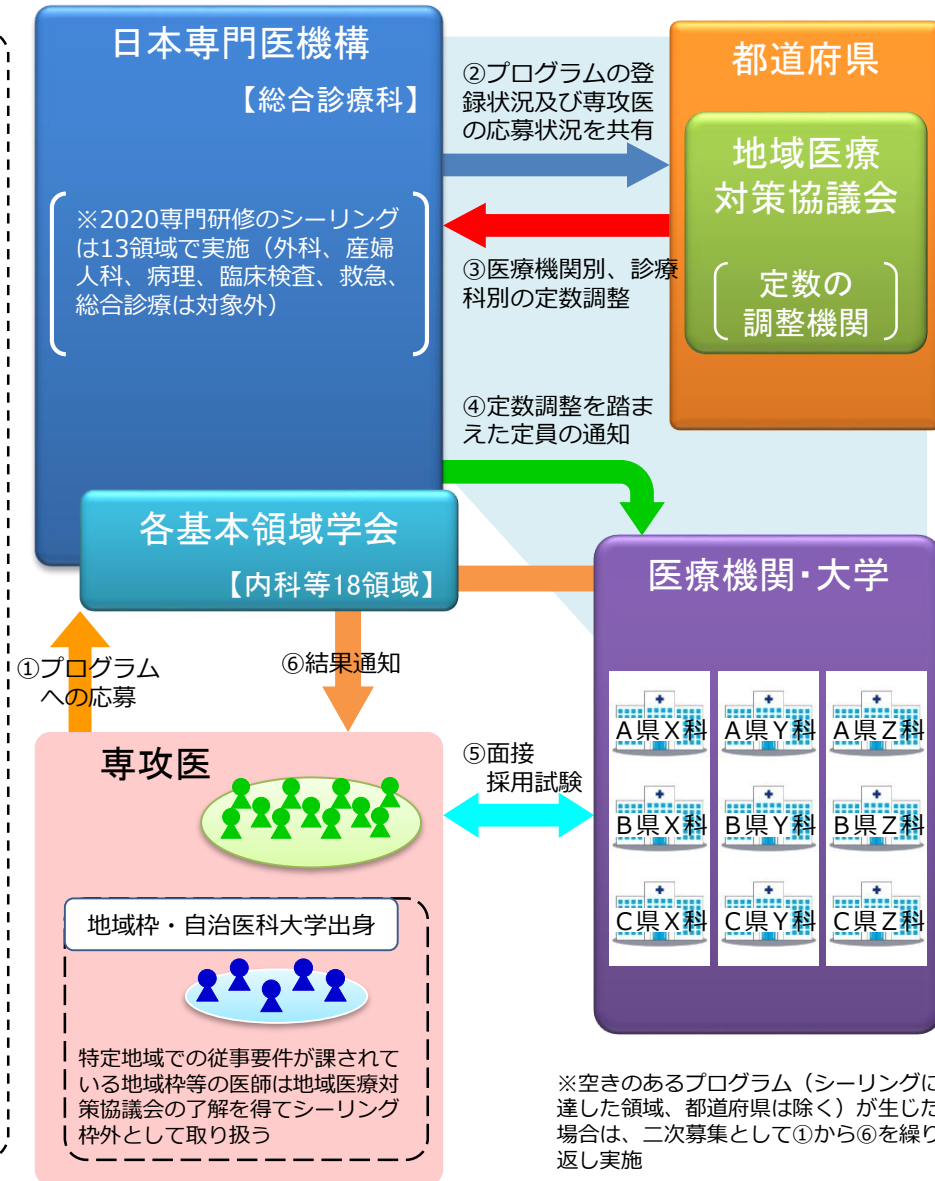
②調整機関(者)は、都道府県の医療提供体制や医療計画・医師確保計画、過去の採用実績との整合を図りながらプログラム間で定数の調整を行い、地域医療対策協議会の承認を受ける。

2. 専攻医応募者の応募状況を踏まえ、応募者数がシーリング数を超過した場合は下記のようなルールを定め、プログラムごとに採用可能な定数を決定（募集メ切後）。

- ・通常のプログラムについては、医師少数区域等で勤務する期間が長い（地域貢献率が高い）プログラムから順に定数を配布。
- ・連携プログラムについては、医師少数（足下充足率が低い）の都道府県と連携をしているプログラムから順に定数を配布。

3. その他、地域枠等医師がシーリングの対象外となった場合は、その配置について、従事要件が履行できるよう配慮する。

○上記はモデルケースであり、調整方法については地域医療対策協議会で議論を行った上で決定をする。



●実効性を高めるために、上記提案内容を、シーリング数とともに厚生労働省からも都道府県に通知してはどうか。

2021年度専攻医募集にかかるシーリングについて

- ・2020年度の募集結果を踏まえ、2021年度のシーリングについて、どのように考えるか。
- ・現在、日本専門医機構において、日本専門医機構が連携プログラムの仲介を行うことについて議論が行われているが、国としても必要な支援を行ってはどうか。
- ・都道府県より、各都道府県内でのシーリングの調整に苦慮をした報告があることから、調整方法について、国としても一定の方法を示してはどうか。